三菱EDIパッケージ“EDIFOAS／Web”

黒田淳司*
吉崎正幸*
上田　淳*

要　旨

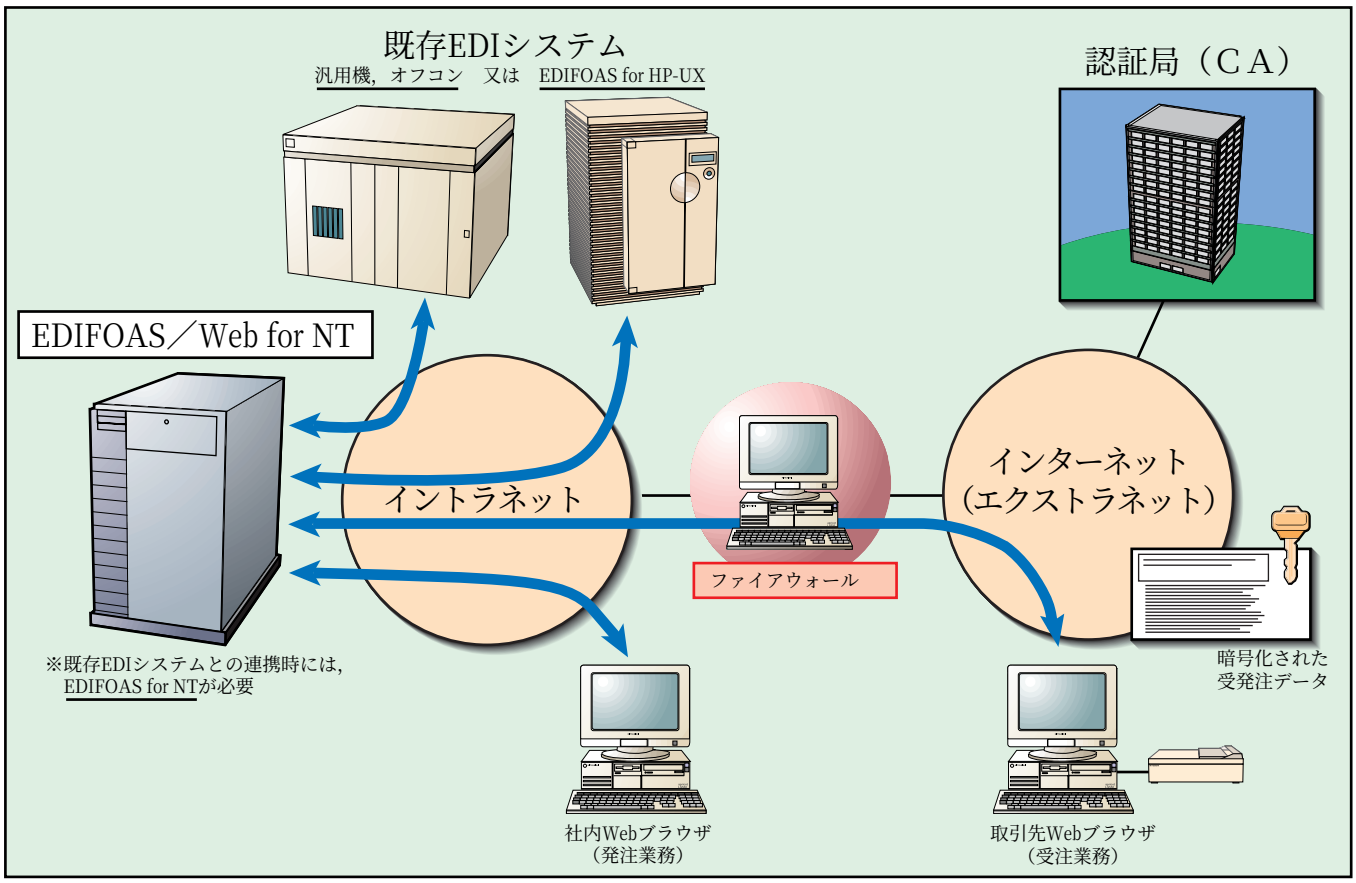
爆発的に普及したインターネットを企業内の通信基盤として使用するイントラネットや，それを企業間にも拡張したエクストラネットの核となっているのは，WWW(World Wide Web)の技術である。ここには，企業間の電子商取引(Electronic Data Interchange：EDI)の普及を飛躍的に加速させる可能性も秘められており，今回，この技術を利用したEDIFOAS(EDI for Any Client Server System)／Web for NTを開発した。

この製品を使用することにより，取引先の導入ソフトウェアはWebブラウザだけで済むため，取引先の導入コストを従来と比較して大幅に削減することが可能である。

EDIFOAS／Web for NTで実装した主な機能は次のとおりである。

- 受発注データの一覧表示，検索機能
- 受発注データの詳細表示，入力機能
- ファイル転送機能
- セキュリティ機能
- 既存EDIシステムとの連携機能

本稿では，EDIFOAS／Web for NTの開発のねらい，開発に際して活用したWWW技術について述べる。



EDIFOAS／Web for NTシステム構成例

EDIFOAS／Webを導入した発注企業は，社内のWebブラウザからイントラネット経由でEDIFOAS／Webにアクセスし，発注業務を行う。一方，その取引先である受注企業は，インターネット経由で受注業務を行う。インターネット上を流れるデータは，セキュリティ上暗号化されている。また，EDIFOAS／Webは，イントラネット内の既存EDIシステムと連携することも可能である。